

子どもをほめて育てるには、

子どもの脳の皮質ではなく髄質を刺激するような言葉かけをしよう。

—子どもの心に響くような言葉かけをしよう。—

子どもをよく観察して、その子に適切な刺激を与え、そして一緒に考えてやることが大切である。どんな刺激がいいかいくつか考えてみた。問いかけの形にするか断定の形にするかは考えなくてはいけない。

(悪いことに対して)

- そんなに人の悪口を言って、恥ずかしくないですか？人間として恥ずかしいとは思いませんか？
- そんなに人の悪口を言って、恥ずかしいなあ。人間として恥ずかしいことだなあ。
- 人の心を傷つけて楽しいですか？悪いことだと思いませんか。
- 人の心を傷つけることが、楽しいんやなあ。悪魔みたいな心をしているんか。
- 人の心を傷つけることは、取り返しのつかない怪我と同じですよ。擦り傷は、時間がたてば、治ります。でも心の傷は、一生治らないのですよ。あなたは、そんな悪いことをしたのですよ。
- そんなことをして、友達を減らしていることがわかりませんか？気がついたときは、あなたの周りには、誰もいなくなりますよ。
- うそをついて、人をだますことがそんなに楽しいですか？はずかしいとおもいませんか？悪いことだと思いませんか？
- うそをついて、人をだますことが、悪いことだと思いませんか。人間として恥ずかしいことですよ。
- 泥棒は、警察官のいるところでは、悪いことはしません。いないところで悪いことをします。あなたも同じことをしているとは思いませんか。学校は、泥棒を育てるところではありません。
- そんなことをしていたらきっとお母さんは、悲しく思うでしょうね。お母さんを悲しませるようなことをしていいのかなあ。
- 悪いことをして悪いと思ったら、その心が相手に伝わるような態度を見せないとあなたの心は伝わらないよ。口だけで謝っても意味ないよ。
- あなたがたたいても○○君は、仕返しをしなかったよね。その気持ちがわかりますか。くやしくて仕返しをしたかったけど我慢したのですよ。あなたよりはるかに強い心を持っているよな。あんたの負けやね。
- 人が困っているのを見て、馬鹿にするのがそんなに楽しいのですか。あなたの心が、ゆがんでいることに気がつきませんか。人間として恥ずかしいですよ。
- そんなことをしていたら、明日は、今よりもっと悪い人間になりますよ。そうやって、だんだん悪い人間になっていくのです。

(いいことに対して)

- あなたのやっていることは、素晴らしいことですよ。自信を持ってやりなさい。先生も応援します。
- 自信を持ってどんどんやりなさい。先生は、あなたを信じています。いつでもあなたの味方ですよ。応援しています。
- 自信がないことは、いいことですよ。自信がないから努力するのです。そうして、成長するのです。
- あなたが失敗しなければ、多くの友だちは、気がつかなかったのですよ。みんなのためになりました。大切なことは、この失敗をどうやってなおしていくかと言う事です。一緒に考えましょう。
- あなたが悪いことをしようと思って、やったのではないよね。結果として悪くなっただけです。だから、これをどうやってなおしていくかですよ。
- あなたのやり方は、まずくはない。自分で一生懸命考えてやったところが素晴らしい。自信を持つたらいいよ。
- やさしいね。あなたの温かい心が伝わってきます。
- あなたの姿を見ていると、一生懸命やっているのがよくわかります。
- あなたのやっていることは、素晴らしい。心の成長を感じるね。
- あなたの答えが、素晴らしいわけではない。いつも参加しないあなたが、意欲的に参加してくれたことが先生はうれしいのです。
- 友だちの気づかないところで、いいことをしているね。あなたの優しい心がよくわかります。素晴らしいね。
- 口で言うより、態度で心を伝えたいですね。
- 友だちのためにしてあげるのは、自分の心を豊かにするためですよ。自分の心が成長していくのは、素晴らしいことです。
- 人に親切にしてもらったら、心から「ありがとう」と言える人が、素晴らしいね。
- 人に親切にできる人は、きっと自分に親切にもらってうれしかったという経験を持っている人ですね。